



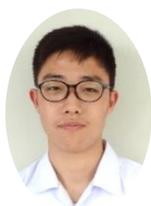
佐工だより

佐賀県立佐賀工業高等学校 総務部発行 第328号 (2019年12月)



長かった2学期も残すところあとひと月。あっという間に年末を迎えます。2学期は充実していましたか？ 街はクリスマスで華やかに飾り付けられ、うきうきした気持ちになる季節。期末考査が終われば三者面談、クラスマッチ、そして冬休みです。事故や病気に見舞われぬよう、気を引き締めて生活しましょう。

高校生ものづくり全国大会出場



第19回高校生ものづくり全国大会(全8部門)が11月16日(土)・17日(日)兵庫・大阪で開催され、本校からは九州地区を勝ち抜いた鷹巣祐誠君(電気科3-1・諸富中)が電気工事部門に出場しました。電気工事部門では、2時間20分の制限時間内に指定された回路を作り上げ、動作・取付・接続・配管・配線・全体の出来映えなどが細かく審査されます。鷹巣君は「今まで練習したことは十分発揮できました。これまでで一番見栄えよく仕上がりに、特に失敗したことはありません。入賞した人は、より優れていたのだと思います。先生方や家族、友人にたくさん支えてもらって、とにかく感謝の気持ちでいっぱいです」と大会を終えての気持ちを語ってくれました。入賞こそ逃しましたが、この大舞台での経験は、今後の人生で生きてきます。



女子ラグビーフットボール部 全国大会初出場



10月26日(土)・27日(日)の二日間の日程で、埼玉県熊谷市で第2回全国U18女子セブンズラグビーフットボール大会が開催されました。全国から選ばれた12チームが戦う今大会に、本校の女子ラグビーフットボールチームは九州代表として出場し、ベスト8の成績を残しました。

本校の女子ラグビーフットボール部は、今年初めて7人になり、学校単独のチームとして試合に出場できるようになりました。あれ？写真には10人写っている??? 大会に出場するには登録選手10人が必須であるため、ラグビーをしていない本校女子生徒が臨時部員としてユニフォームを着てベンチに控えたというわけです。

「人数がそろわずまでは合同チームで試合に出ていましたが、知らない人ばかりで、試合後の振り返りもできませんでしたので、今年は4月から単独チームができて嬉しかったです。初めての全国大会で、緊張のあまり脚がブルブル震え、心臓もバクバクしました。初戦ではいいプレーができませんでしたが、2回戦は落ち着いたプレーができました」と主将の富吉瑠那さん(建築科3年・東与賀中)は大会を振り返りました。チームの特徴は、「うるさくて仲がいいところです。けんかもするけれど、練習しているとすぐに仲直りできます」とのこと。



男子部員と共に練習に励む女子部員は、たとえ力ではかなわなくても元気はまったく負けていません。

ベトナム海外インターンシップ

将来、自らの専門性を国内外で活かしながら、各分野でグローバルに活躍する人材を育成することを目的として、10月16日（水）から20日（日）の日程で海外インターンシップが行われました。訪問国はベトナム。研修は墨東建材工業（株）やサガシキ印刷（株）など日系企業の工場を視察する企業研修と、文化や歴史、自然に触れる研修とで構成されています。県内の工業系高等学校8校から参加者を募り、1、2年生10名、うち本校からは内田雅人君（機械科2-2・小城中）と宮崎みのりさん（建築2年・白石中）の2名が参加しました。二人とも感想の第一声は「楽しかった!」。弾けるような喜びあふれる声でした。異文化に触れる楽しさを満喫した様子。そんな二人に感想文を寄せてもらいました。



墨東建材工業(株)にて



聖マリア教会にて

「初めての海外体験」 機械科2年 内田雅人

私は日本以外の国がどういうところか知りたかったので、海外に行ってみようと思っていました。今回のベトナムが初めての海外です。まず驚いたのは現地の気候です。訪問したのは10月ですが、ベトナムは雨期で気温も30～35度にもなり暑かったです。発展途上国だから街にクレーンがたくさん並んでいるのでは、と想像していましたが、実際そうでした。中心部は高層ビルが多く近代的な街並みですが、郊外にはスラム街が広がっているところもあり、社会主義の国にしては貧富の差が大きいなと感じました。ベトナムには日系企業が多くあり、ベトナムで作った材料が日本に輸出され、東京スカイツリーやオリンピックの会場の一部となっていると知りました。人々は温かく、市場では日本語を話せる人も多かったです。



道はバイクだらけ!

「海外インターンシップに参加して」 建築科2年 宮崎みのり

私は1年の時から、2年生になったら海外に行こうと決めていました。それで今回ベトナムへのインターンシップに応募しました。ベトナムには地下鉄が通っておらず、主な移動手段はバイクです。一日中バイクのクラクションの音が聞こえ、町のいたるところで渋滞していました。ベトナムでは、日本にはわからないことを知ることができました。その一つとして言葉が通じないことの大変さがあります。お店で会計するときが本当に大変でした。ですがベトナムの方は私たちが理解するまで何度も説明してくれ、ベトナム人の優しさに触れる機会ともなりました。今回、貴重な体験ができたおかげで視野が広がりました。



メコン川クルーズ
川幅なんと3km

文芸コンクール(俳句部門) 一席に竹巖(ちくがん)君



竹巖一輝君

11月8日（金）、佐賀県高等学校文芸コンクールがアバンセで開催され、本校図書部の諸君が参加しました。小説・詩・短歌・俳句・川柳・文芸誌の6部門がある中、俳句部門に9名が出品し、3名入賞しました。一席に竹巖一輝君、四席に増田侑祐君、五席に橋本泰希君です。一席に輝いた竹巖君は来夏、高知県で開催される全国総合文化祭への参加が決まりました。竹巖君に作句について尋ねました。「受賞した句は電気の実習中にしたことを思い出して作りました。この句は夏の句です。どの季節の句もいいですが、特に夏の句が気になります。」また、「自分が作った句に他の人が共感してくれたとき、とても嬉しいです。」と俳句の楽しみについて述べてくれました。

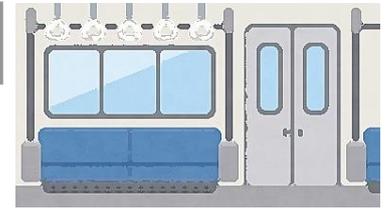


入選した作品を紹介します。

一席 カこめ圧着工事する西日
 四席 冬ざるる戦地に送るプレゼント
 五席 油照どんどん溶ける溶接棒

竹巖 一輝
 増田 侑祐
 橋本 泰希

列車のマナーは大丈夫？



学校には時折、校外での生徒諸君の様子をお知らせくださる電話がかかってくるのですが、11月6日の全校集会では副島政史校長先生から列車マナーについて注意を促す電話の紹介がありました。県内各地から生徒が集まる本校では、全校生徒の四分の一弱、約200名の生徒諸君が列車を利用して通学しています。本校生徒に限りませんが、高校生の座席占拠は確かに目に余ります。鞆を網棚に乗せてくればば…、膝に抱えてくれば座れるのに…とと思っている大人はたくさんいるはずで

そこです。そこで列車で通学している諸君に自分の乗車中の荷物の置き場所、座席にバッグを置いている人を見ての思いなどを聞きました。

◆鞆は膝に、リュックは下に置いています。列車が空いているときは気にならないけれど、混んでいるときはちょっとどうかなあと思います。(肥前山口駅) ◆いつも膝に置いています。座席に置いている人を見ると、「おまえそれでも日本人か！」と思います。(小城駅) ◆荷物は上の網棚に置くか下に置くかしています。当然です。座席に置いている人は、何か理由があるのかなあ。理由がないなら悪い。(本牟田部駅) ◆自分も人が少ないときは横に置いています。今日、足下に置いていたら人が座ったので、校長先生のお話はこういうことかな、と思いました。(肥前鹿島駅) ◆いつも奥に座って、バッグは膝に載せています。周りを見て行動すべきだと思います。(牛津駅) ◆足下の床に置いているので、いつも隣に人が座ります。(肥前竜王駅) ◆隣に置いたりしません。人が座ります。佐工生で座席

に置く人はあまり見ません。(肥前浜駅) ◆足の間と膝の上に置きます。朝は混んでいるので、座席に置いている人は周りでは見かけません。(多久駅) ◆ほぼ床に置いています。座席のバッグ、どかせばあと1人座れるのになあ。(中多久駅) ◆空いているときは横に置いています。寝ていると混んでも気づきません。校長先生のお話を聞いて気をつけようと思いました。(多久駅) ◆基本、足下に置いています。周りの人は立っているのになあ。(相知駅) ◆いつも立っています。校長先生のお話は、あ〜わかるな〜と思いました。(牛津駅)

列車を利用していない諸君にも聞きますと…
 ◇小学生のうちで学んでいるはずなので、マナーを守れない人なんだと思います。◇人が座れないのに、自分のリュックを置くのは良くない。◇普通の人も乗るから、迷惑だなと思いました。高校生だし、周囲の人への配慮が足りていないですね。◇1人でも多く座らせようと思わないのかなあ。

……このように、かなり手厳しい意見の数々。



聞いてみると意外と(失礼!)心得ている人が多数を占めていて、「いつも座席に置いています」という人にはなかなか出会いませんでした。何事もそうですが、きちんとしている人は目立たず、そうでない人は目につくのです。「若いモンが座るなど、まかりならん!」とまでは言いませんが、君たちが座りたい以上に、大人は年をとっているのだから座りたいのです。席はあるのに鞆が置かれていて、学生は知らん顔。何も言わずぐっところえる大人の気持ちも察してください。

バッグを置く人は、他人が近くにいるのが苦手ということもあるかもしれませんが、やはり迷惑です。注意されると素直な心が消えて、心の中で「ちっ」と舌打ちしたくなりますから、そうなる前に……。こんなことだって幸せへの道につながっています。「自分はどう生きようとしているか」の今の時点での一つの答えがここにあります。人生は遠い先にあるのではなく、今まさに自分の人生を生き、そしてそれがずっと先まで続いています。君が幸せになるためにも、列車でのマナー向上に努めましょう!

表彰

キ：機械科、テ：電気科、シ：電子情報科、ケ：建築科

令和元年度国民体育大会 第39回九州ブロック大会 ◆ラグビーフットボール競技 少年男子Bパート 1位	◆ ソフトテニス競技 男子団体 第3位
第1回九州U18女子セブンスラグビーフットボール大会 兼第2回全国U18女子セブンスラグビーフットボール大会九州ブロック予選会 準優勝	◆ バドミントン競技 男子団体 第3位
第73回国民体育大会 ◆ラグビーフットボール競技 少年男子 第2位	◆ 登山競技 男子団体 佐工A 第3位
◆馬術競技 少年団体障害飛越競技 第7位 川浪 愛莉 (ケ1・成章中)	◆ 第23回九州高等学校新人柔道大会 66kg級 第3位 辻 勇貴 73kg級 優勝 中村 絢
第99回 全国高等学校ラグビーフットボール大会 佐賀県大会 優勝	◆ 第10回全国高等学校選抜クライミング選手権大会 佐賀県予選会 男子ミドルクラス 3位 池田 吏瑠斗 (シ1・大和中)
令和元年度全九州高等学校体育大会 新人陸上競技大会 走高跳 第3位 久保田 怜央 (キ2-2・白石中) 男子200m 第6位 田中 翔大 (シ1・鳥栖西中)	令和元年度佐賀県高等学校総合文化祭 ◆ 第31回佐賀県高等学校総合文化祭 美術・工芸展 デザインの部 佳作 木村 遥 (シ3-2・多久中央中) デザインの部 " 中村 侑貴 (キ2-1・城西中)
令和元年度佐賀県高等学校新人体育大会 ◆ 柔道競技 女子個人 48kg級 第1位 吉本 萌乃 (ケ2・基山中) 52kg級 第1位 大石 凜 (ケ2・大和中) 57kg級 第1位 庄野 文香 (シ2-2・昭栄中) 63kg級 第2位 牧山 雅 (シ2-2・有田中) 女子団体 第1位	◆ 第18回佐賀県高等学校総合文化祭 文芸コンクール 俳句部門 1席 竹巖 一輝 (テ1-1・昭栄中) 4席 増田 侑祐 (キ1-2・昭栄中) 5席 橋本 泰希 (キ1-1・城西中)
男子個人 66kg級 第1位 辻 勇貴 (キ2-1・芦刈中) 73kg級 第1位 中村 絢 (キ2-1・三日月中) " 第2位 藤田 健斗 (キ1-2・三日月中) 100kg級 第2位 陣内 星河 (キ2-1・東原庫舎西溪校) " 第3位 香月 隆輔 (キ2-2・基山中) " 第3位 山田 優吾 (キ2-2・芦刈中) 100kg超級 第3位 原田 拓真 (キ1-2・高田中) " 第3位 寺尾 光翔 (キ1-2・牛津中) 男子団体 第3位	◆ 九州産業大学主催第二回建築都市工学部全国高等学校プロジェクトコンテスト 銅賞 黒田 昇氏 (ケ3・諸富中)
	◆ 第27回佐賀県建築士会主催佐賀県内工業高校生による建築設計競技 銀賞 中山 聡 (ケ3・武雄北中) " 溝口 唯 (ケ3・北方中) 銅賞 小原 実花 (ケ3・武雄中) 奨励賞 笠井 瑞希 (ケ3・昭栄中) " 八坂 瞳 (ケ3・成章中)
	◆ 第14回若年者ものづくり競技大会電気工事士の部 教育長表彰 高祖 拓実 (テ3-1・千代田中)

12月 行事予定

日	曜	行事予定	日	曜	行事予定
1	日		17	火	いのちの教室(3年) 修学旅行事前指導②(2年)
2	月	期末考査	18	水	三者面談 クラスマッチ(3年) 蔵書点検
3	火		19	木	クラスマッチ(1年)
4	水	修学旅行事前指導①(2年)	20	金	クラスマッチ(2年)
5	木		21	土	
6	金		22	日	
7	土	第一種電気工事士実技試験	23	月	
8	日		24	火	終業式
9	月		25	水	
10	火	薬物乱用防止講話(1年)、進路学年集会(2年)	26	木	ものづくりマイスターによる講習(建築科)
11	水	スクールカウンセラー来校日	27	金	仕事納め
12	木	キュボラ溶解実習(機械3-2)	28	土	
13	金	パソコン利用技術検定	29	日	
14	土		30	月	
15	日		31	火	
16	月				

お知らせ 卒業証書授与式は令和2年3月1日(日)です。

佐賀県立佐賀工業高等学校
所在地 〒840-0841 佐賀市緑小路1-1
 TEL 0952-24-4356
 FAX 0952-25-7043
(ホームページ)
<http://cms.saga-ed.jp/hp/sagakougyoukoukou/>

編集後記 私は列車通勤をしていますが、毎日ちやっかり座っています。座席に置かれたバッグは、私のために席を確保するものであると解釈し、感謝しています。(ナンチテ) ちょんちょんと肩をたたいて席を空けてもらいます。もちろん「アリガト!」とお礼の言葉も忘れません。 K